

かたかご

KA TAKA GO



けんか山 前夜祭

江戸後期の文政3年(1820年)、中町の「ひょうたんやま」創設に始まった伏木神社春期例大祭「けんか山」。昼は花山車巡行、夜は提灯曳山のぶつかり合い「かっちゃ」で盛り上がる。2024年1月1日の能登半島地震で伏木の町は大きな被害を受け、祭も規模縮小され非公開となっていたが、今年は3年ぶりに復活して全面公開された。写真は祭前夜の花山車ライトアップ。各町内の総代が観客を前に復活の喜びと意気込みを語った。

病院理念

地域住民のQOL向上に資するため、安心で質の高い医療を提供し、地域包括システムの要となる！

index

病院機能評価を受審して「伏木観光まつり」に参加……………	2
病院機能評価 がんばりました！各部署からのメッセージ…	3～5
新人・転任紹介 ……………	6
祝・定年退職 ……………	7
曜日別外来担当表 編集後記……………	8

No.27

令和8年5月25日発行

病院機能評価を受審して

看護部長 諸江由紀子

令和8年1月29日・30日、初めての病院機能評価を受審しました。病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で病院の組織運営や医療の質を評価する第三者評価制度です。4つの領域（理念、患者中心、良質な医療、組織運営）に基づき、サーベイヤー（調査者）が病院を訪れて審査を行い、合格すると「認定病院」として5年間有効の認定証が発行されます。いわば病院の「ミシュラン」といったところでしょうか。

求められる内容は、病院の大小にかかわらず患者さんが安心して医療を受けられるために必要かつ基本的なことばかりで、日頃わたしたちが大切にしていることでした。「これならやれるかも」と一歩進み始めたのが令和7年の2月でした。

通常業務と並行しての準備は想像以上に大変で、遅くまで残る職員も少なくありませんでした。こういった「第三者評価」を受ける際に大切なのは、質の高い医療を提供していることを裏付ける「証拠」です。いくら言葉で説明しても認めてはもらえません。標準化された「手順書」と、それに則って行った書類や記録が必要です。当院の弱点はここでした。手順書がベテランの視点で書かれていて新人にはわかりにくかったり、当院独自のルールが残っていたりで、これまで経験則とチームワークと阿吽の呼吸でやってきたことすべてに根拠と文書が求められました。根拠がないわけではありましたが、看護部ではこれを機に手順や文書のすべてを見直しました。患者さんや新人の目線で、医局をはじめとした他部門と何度も話し合い、追加・改訂していきました。

また受審当日は、カルテを見ながら患者さんへの診療の一連や看護のプロセスについて説明し、質問に答えなくてはなりません。これには、JCHOグループのいくつかの病院で実際の審査場面に立ち合わせていただき、たいへん参考になりました。また、他の病院からも励ましとともにたくさん関係資料を惜しげもなく送っていただくなど、グループ病院の温かさを痛感しました。

そうして迎えた訪問審査当日。不安と緊張でガチガチの職員を励ましながら見守っていましたが、質疑に応じる職員たちのなんと頼もしかったことか。日頃の実践を臆することなく堂々と伝えられており、準備した書類や文書の内容も概ね高評価でした。

それから2か月後の4月3日。「C 評価なし」の中間報告（つまり合格！）をいただきました。この結果に満足せず、さらなる質の向上に努めていきたいです。

「伏木観光まつり」に参加

4月26日（日）、高岡市伏木コミュニティセンターで「伏木観光まつり」が開催され、昨年に引き続き今年も十七軒町の山車の前に病院ブースを開設しました。病院スタッフ等が認知症をテーマとしたテストやアンケート、健康相談、栄養相談などを実施し、たくさんの地域の方々にお立ち寄りいただきました。



病院機能評価 がんばりました!

各部署からのメッセージ①

《医療安全管理室》

受審までの1年9か月は「機能評価機構の求めるべき病院の姿」と「当院の姿」の差を埋める時間でした。勤めて30年の間に、自分の医療知識はガラパゴス化していました。そこからの脱却のため、令和6年は現状把握。令和7年は文章を読み漁り、そして他病院の情報収集。その後、他施設・機能評価機構の情報をもとにマニュアルを改訂し、当院に足りないものを作成しました。活動が正しかったという自信はありませんが「機能評価機構の求めるべき病院の姿」近づくことができ、病院に少しは恩返しできたかなと感じています。悔いはありません。



《栄養管理室》

美味しい食事の提供を心掛けていることをアピールするため、行事食の写真を撮りアルバムを作りました。また審査当日は、部署の紹介や取り組みをわかりやすいようホワイトボードにまとめ、サーベイヤーに見てもらいました。



《病棟看護部》

病棟の機能評価への1番の取り組みは、ケアプロセスです。ケアプロセスは、患者様や利用者のニーズに応じて計画的に行われる支援の一連の手順を指します。私たち医療者は、患者様本人の意思を尊重した治療やケアは適切だったのか、家族の思いに応えられていたのかという答えはなかなか得られません。今回の機能評価では、個性に合わせた医療提供ができていたのかを外部評価していただく貴重な機会となりました。今後も病院全体で地域医療に取り組みます。

《ICT：感染制御チーム》

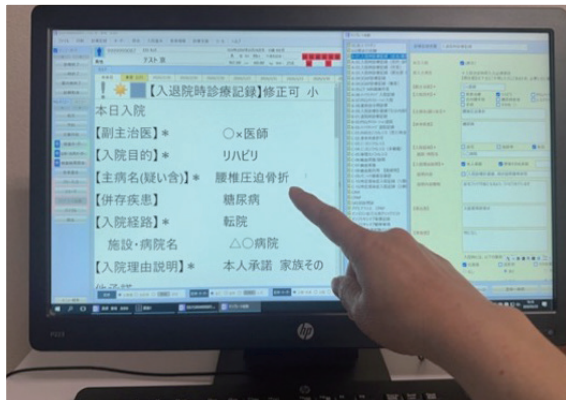
感染制御チーム（ICT）の半分が交代して迎える病院機能評価でしたが、これまで感染対策の向上に努められた前任者達の実績と、コロナパンデミックなどを乗り越えて培われた感染対策の礎があり、無事に乗り切ることができました。受審前には篠田Dr.を先頭にICTで色々な部署をラウンドしましたが、受審が後押しとなり、今まで以上に感染対策の提案が受け入れられやすくなったと感じました。病院に関わるすべての人々を感染から守るため、受審後も引き続き感染対策の向上に努めます。

病院機能評価

各部署からの

《医局》

医師の電子カルテ記載不足、不備が最大の課題でした。そこで、医局長大号令のもと、入院時および退院時カルテ記載を各科ほぼ共通のオリジナルテンプレートへの入力必須として、記載項目のもれがないように徹底しました。各医師、素直に（シブシブ?）従っていただき、他部署からも医師の記載がわかりやすくなったと大好評です。その他、同意書や退院時サマリーの形式統一など、大改革が行われました！



《地域連携室》

令和6年度より地域の公的病院への定期訪問や近隣施設とのオンライン会議による連携強化を実施してきましたが、今回の病院機能評価を機にマニュアルの作成や、実績として見える化作業にも取り組みました。その内容をサーベヤーに伝える（見せる・説明すること）にとっても苦労しましたが、皆一丸となって達成しました。アピール点である、地域連携室スタッフが紹介元の病院へ事前に伺い、患者さんとお会いすることで安心して当院へお越ししていただけるよう取り組んでいる「転院前訪問」はこれからも継続し、地域に寄り添った支援ができるよう邁進してまいります。

《外来看護部》

病院機能評価に向け、外来では日々の業務を振り返りながら準備を進めました。業務マニュアルの見直しや記録の充実、内視鏡業務のマニュアル作成、救急室の環境整備、掲示物の整理など、通常業務と並行して取り組むことは大変でした。また、多職種との連携の確認や毎朝の理念唱和を通して、病院の基本を改めて見直す機会にもなりました。準備を通して、日常業務を整えることの大切さを実感しました。

《医事課》

診療録管理（質的・量的監査、規程を設ける、記録調査など）や委員会の記録、医事業務のフロー作成などに多く時間を費やしました。特にカルテ記載においてはこれまで診療録の監査を行ったことは無く、どのように進めれば良いか、ルール決めからのスタートでした。まずは他院での採点基準を参考に第1回目の診療録監査を決めました。その後、医事課職員2名が病院機能評価を受審後の金沢病院へ訪問し、診療録管理士から必要な記録と注意すべきポイントを情報収集しマニュアルが完成しました。多職種の協力をいただき病院機能評価の受審日に間に合いました。



がんばりました!

メッセージ②

《放射線科》

審査に必要な情報をできるだけ多く入手し、スタッフが情報を取捨選択して当院の実情に沿うよう文書化してくれました。特別なことでなく、これまでの振り返りと足りない部分の補足です。サーベイヤー対策も想定範囲を広く設定し、十分な対応ができるよう150%の準備を行いました。これらの作業を的確に実施してくれた放射線科スタッフに感謝です。

《薬剤部》

薬剤部の2つの課題

①「病棟注射薬の1施用ごとの取り揃え」

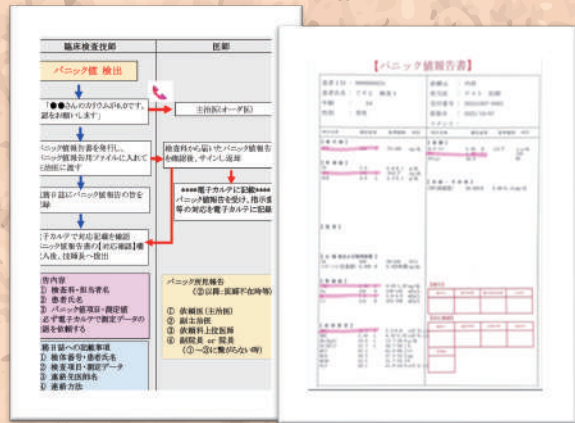
以前は、一患者ごとのボックス内には、その日に使用される注射薬が仕切りもなく入れられており、現場では薬剤の取り違えもあり、患者の安全を確保できなかったため改善しました。

②「麻薬・向精神薬の定数配置の見直し」

まずは、定数配置となっている麻薬・モルヒネ注（一般的には定数配置とする薬剤ではない）は、当院の体制として休日・夜間は薬剤師がいないため、医師と相談して定数配置を減らすことにしました。向精神薬は、緊急性がない部署にはできる限り定数配置しないこととしました。

《訪問看護ステーション》

意思決定や看取り、緩和ケアの指針作成を先生方とともに行いました。また、当院の強みとして、在宅療養支援をアピールしました。



《臨床検査科》

臨床検査データのパニック（緊急報告）値を含む異常値報告の体制を強化するため、①報告方法、②緊急報告値に対する記録について、今までの対応を見直し、医局・関連部署と調整し報告体制の再構築を行ないました。パニック値報告手順のフロー化や各科共通のテンプレートを作成し、報告や記載漏れがなくなる体制を構築しました。電話や報告書へのサイン、カルテ記録など必要となりますが、確実な報告体制を整えることができました。

《リハビリテーション科》

今回の評価を機に、やや雑然としていたリハビリテーション室の環境整備に取り組みました。物品の整理整頓から始まり、ベッドや治療機器の位置を患者様や職員の動線を考えながら何度も変更しました。当院開設当初（約40年前）からの骨董品もありましたが、涙ながらに整理させていただきました。結果的に皆が安全に動きやすい環境となり、実際に患者様からも「すっきりしたね」「きれいになったね」など好意的なご意見を頂いています。

新人・転任紹介

①出身地 ②趣味・特技等
③新人：この仕事を選んだ理由

転任者：抱負等



南嶋 聡 (調理師) **新人**
①富山県高岡市
②読書
③入院患者様に美味しい食事提供が
したくて選びました



開 こすえ (看護師) **新人**
①高岡市
②登山 (低山ですが…)
③ずっと地元である高岡でいつかは働き、地域
の為に貢献したいと思ってきました。今、そ
れが実現できたので精一杯尽力していきたい
と思います



沼田 彩花 (医師) **新人**
①富山県魚津市
②映画鑑賞、YouTube をみること
③地域医療のために働いていきたい
と思います。よろしくお願いします。



伊勢 京 (准看護師) **新人**
①富山県高岡市
②舞台鑑賞
③小さい頃に親と一緒に妹の見舞いに行く機会
が多く、妹に寄り添い優しく接する看護師の
姿をみてあこがれをもったため



山田 尚澄 (薬剤師) **新人**
①愛知県
②読書、最近ではサックスやフルート
の演奏配信をよく聴いています
③実務実習を通じ、薬剤師が魅力的
だったから



本江 淳也 (事務 (情報システム係)) **新人**
①富山県射水市
②車 (MT 歴 35 年 ※走り屋ではありません)
アクアリウム、ラジコン (1/10 電動カー、レー
ス活動中心、ホーム:高山モンデウス RC サー
キット)
③パソコントラブルはおまかせください!



岩原 采音 (診療放射線技師) **新人**
①岐阜県
②趣味：ピアノ、クラリネット、編
み物
③病院で優しく対応して下さった
診療放射線技師の方に憧れたから



高瀬 直子 (医療社会事業専門員) **新人**
①富山県氷見市
②読書、太極拳 (超初心者)
③なりゆきで福祉の世界に入り、い
つの間にかどっぷり浸ってしまっ
ていました



山内 怜奈 (診療放射線技師) **新人**
①岐阜県
②映画鑑賞
③地域の方々の健康を支えていきた
いと考えたから



澤田 瑞木 (診療看護師) **新人**
①秋田県にかほ市
②ドライブ
③地域医療に貢献できるよう努めて
まいります



山内 彩菜 (臨床検査技師) **新人**
①岐阜県
②旅行
③正確な検査を通じて診断を支える
役割に魅力を感じたため



森岡万里子 (薬剤師) **転任**
①福井県
②子育てが一段落したので、旅がし
たいです
③やってみる精神で、がんばってい
きたいです



角木 七菜 (栄養士) **新人**
①愛知県
②和太鼓、カフェめぐり
③生活に欠かすことができない「食
事」の面から人の健康を支えたい
と思ったからです



奥藤 歌子 (事務) **転任**
①三重県
②ウォーキング、映画鑑賞、愛犬と
過ごす、トールペイント
③受診者の皆様に「安心して受診できた」と感
じていただけるよう笑顔と思いやりを大切に
業務に取り組みたいと考えております



篠田 夏希 (看護師) **新人**
①富山県
②趣味：サウナ
③信頼して仕事を任せてもらえるよ
うに頑張ります



坂井 政仁 (事務) **転任**
①長野県
②音楽鑑賞、アーチェリー (を久々
にやりたい)
③一日一日を大切に少しでも病院の
力になれるよう努めます

祝・定年退職

健康管理センター 桶谷 栄進（勤続42年）

如意の渡に乗り自転車で坂道を上がって出勤したことが昨日の事のように思えます。

病院施設の引っ越しから始まり、経験したことがない内容の仕事、たくさんの出会いと別れ、組織体系の変更、手術や入院など、高岡ふしき病院が人生に大きく関係した大切な場所になりました。

おもえば伏木病院での出生から始まり、その頃お世話になった方々と一緒に働いたことは（もう最初からお世話になりっぱなし）今にして思えば貴重な経験です。すいぶん長い時間がたちました。ふり返ればご迷惑をおかけし助けてもらった記憶ばかりです。お世話になった方々や出会えた方々すべてに心から感謝を申し上げます、ありがとうございました。

薬剤部 朴木 康雄（勤続36年）

思えば当院に就職しお世話になったのは、平成元年10月1日。あっという間の歳月の流れのように感じられます。このお祝いの場で語る話題としては不適切かもしれませんが、この就職が決まる数カ月前に、病院の近くを通る、十間道路(国道415号線)、自動車の正面衝突事故に巻き込まれ、救急車で搬送されたのが、当院でした。症状は軽症で、入院はせず、すぐに他院へ転院となりましたが、この事故が何かしらの縁であったと思うべきなのか？

こちらに就職する前は、工業製品の営業マンで、医療の現場など、まったく経験したこともなく、病棟活動もその当時はまだ実施されておらず、病棟に出向くこともなく、薬局に来る、声の大きい看護師のお姉さま達が、ただ怖くて怖くて、しかし、医療に対しての気持ちが熱く、勉強熱心だった印象があります。

今日では、医療の取り巻く環境も大きく変わり、チーム医療を通して、多職種と関わることが当たり前となり、年齢にかかわらず職員のみなさまには、大変お世話になりました。これまで本当にありがとうございました。



退職の挨拶

看護師 佐々木嘉子（勤続12年）

平成26年に内視鏡技師の資格を習得し、以来内視鏡業務に携わってきました。技術を習得するのに必死だった頃を思い出します。途中、技術を教えて頂いた看護師が退職され、経験の浅い中で担う事となり、葛藤や不安の日々で心が折れそうになりました。先生方をはじめスタッフの皆様の支えと患者様の言葉に励まされ、今日まで続けていくことができました。心より感謝申し上げます。今後再雇用として、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

眼科 圖師 眞弓（勤続16年）

富山大学眼科の医局人事異動を命じられて16年間お世話になったこの病院を退職する運びとなりました。

とても穏やかな雰囲気のある病院で、敷地内にある官舎に住まわせていただいて、地元住民の患者様のお役に立てるように努力しながら学び働かせていただけたことに感謝しています。



退職

中村 直彦	内科医師	医局人事	(11カ月)
川口 アエ	内科医師	医局人事	(1年)
大谷 春香	栄養士	退職	(2年11月)
条谷 直美	副看護師長	退職	(37年)
網 美之	看護師	退職	(10年)
岩瀬 紗織	看護師	退職	(7年)
北宮 沙知	看護師	退職	(7年)
鷲北 千夏	看護師	退職	(4年)
小見 隆	再雇用	診療放射線技師	退職
小久米雅明	再雇用	診療放射線技師	退職
江畑美由紀	再雇用	医療社会事業専門員	退職

転任

西村 直子	主任臨床検査技師	転勤	(16年1カ月) JCHO金沢病院
清水 文彦	総務係長	転勤	(3年) JCHO可児とうのう病院
下田 健	管理係長	転勤	(3年) JCHO金沢病院

令和8年度 曜日別外来担当表

令和8年6月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土		受付時間	
							第2	第4		
内科	午前	1診	小林 【初診】	宮元	中村	宮元 【初診】	小林	中村	宮元	AM 8:30~11:30 ※【初診】以外は すべて予約外来
		2診	中辻	和田 【初診】	和田	高嶋	鈴木 【初診】	中辻	中辻	
		3診	和田 (心臓)	今西	篠田 【初診】	和田	篠田	篠田	和田	
		5診			加藤将 (リウマチ※第1週のみ)					
		5診			中辻 (もの忘れ)					
		6診	加藤		田中修		加藤 (リウマチ)	加藤	鈴木	
		7診	鈴木 (糖尿病センター)	小林香 (糖尿病センター)	加藤 (糖尿病センター)	佐藤 (糖尿病センター)		和田努 (糖尿病センター)	小林香 (糖尿病センター)	
	午後	2診		齋藤 (総合診療科)	大角 (糖尿病)	井川 (循環器)				※すべて予約外来
		3診	篠田 (禁煙)	篠田 (呼吸器)			篠田 (睡眠)			
		6診			和田 (睡眠)	田中遼 (脳神経内科)				
		7診			中辻 (もの忘れ)					
	小児科	午前	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎		AM 8:30~11:30
		午後	宮崎	健診・予防接種 宮崎	健診・予防接種 宮崎	第3週のみ 宮崎・荻野	宮崎 第1週のみ 大学			PM 1:45~ 3:00 PM 2:45~ 4:30
	外科	午前	宮崎	宮崎	宮崎	安達	宮崎	宮崎【要予約】		AM 8:30~11:30
眼科	午前	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	日下	大塚	AM 8:30~11:30	
	午後	手術	沼田/大塚(第1)	手術	沼田	沼田			PM 1:45~ 4:00	
整形外科	午前		岩橋	岩橋			金沢医科大学		AM 8:30~11:30	
	午後	金沢医科大学			金沢医科大学	金沢医科大学	—		PM 1:00~ 4:00	
婦人科	午前	三輪	三輪	三輪	三輪	三輪	—		AM 8:45~11:30	
耳鼻咽喉科	午前	—	—	—	—	—	大学		AM 8:45~11:30	
	午後	—	孔	—	十二町	—			PM 2:15~ 4:30	
皮膚外来	午前	—	竹本	—	—	—	—		AM 8:45~11:30	
	午後	—	—	—	—	木村(5/8~)	—		PM 1:45~ 3:00	
泌尿器外来	午後	林	—	—	大学	—	—		PM 1:30~ 4:00	



編集後記

新年度の慌たしさも少しずつ落ち着き始める頃となりました。日々の業務に追われる中で、ふと立ち止まり、自分の体調や心の状態に目を向けることの大切さを感じています。

これから気温や環境の変化も続きますが、一人ひとりが無理をしすぎず、支えあいながら日々を過ごしていければと思います。

(A.S)